

山田市長とスマイルミーティングを開催しました



☎総務課 ☎22-1331

オンラインで意見交換会を初開催

9月29日、毎年実施している地区懇談会が昼間の開催であるため、参加が困難な方にも幅広く参加いただけるよう、夜間にオンライン会議ツール「Zoom」を活用した新たな意見交換「スマイルミーティング」を初開催しました。

この日は、事前に申し込みをした24人が参加。山田市長が「道の駅しろいし」「公立刈田総合病院」「大学院大学」「教育改革3.0」など、市の重

点事業の概要を説明し、参加者からの事前質問や意見交換で寄せられた質問に答えました。

ミーティングを終えた参加者からは「市長と直接話せる貴重な機会となり良かった」「またオンラインで開催してほしい」などの声が寄せられました。

こうした要望を受け、今後も市民の皆さんとの意見交換の機会として継続してまいります。

■主なご意見および回答

Q 公立刈田総合病院を「お産のできる病院」にするというのが、公設民営化の目的のひとつだと思う。市長の考えを聞かせてほしい。

A 安心して赤ちゃんを産める環境は非常に重要だと思っていますが、段階を踏んで進める必要があります。現在、仙南地域で発達障がいのお子さんに対応できるのは刈田病院だけで、まずは小児科を充実させたいと考えており、産科をあきらめてはいません。本市で赤ちゃんが産める環境が実現できるよう、引き続き努力してまいります。

Q 学校再編の問題は、本市にとって大きな課題だと思う。子どもたちを大事にして、学校の修繕などにもお金をかけてほしい。また、丁寧な説明をお願いしたい。

A 学校再編は大変重要だと思っています。今年度中に教育委員会から基本方針（案）が示される予定ですので、市民の皆さんには丁寧に説明を行い、修繕が必要なところは予算化

し対応してまいります。

Q 本市の有害鳥獣被害対策について教えてほしい。

A 本市においては、イノシシ、サルによる農林産物の被害が多く、今年は全国的にクマの目撃も多くなっていることから、有害鳥獣対策実施隊と連携した捕獲のほか、農地を守るための電気柵設置に補助金を交付するなど、被害防止対策の強化に努めています。

Q 財源の問題はあると思うが、0歳から2歳までの保育料無償化の実現可能性はあるのか。

A 自治体の財源の有無で、教育や子育ての環境に地域格差が生じないように、全国青年市長会などを通じて、国に一律の対応を要望しているところですが、このほかにも、本市の新たな財源確保のため、ふるさと納税に力を入れています。

明確な時期はお答えできませんが、財源の確保や事業の縮小・廃止を含めた検討を行い、実現したいと考えています。

病院事業

公立刈田総合病院は、令和5年4月1日に白石市立の病院として指定管理者制度を導入し運営を開始してから2年が経過しました。利用料金制を採用しているため、診療報酬などの収益や運営にかかる費用は、指定管理者の会計になります。

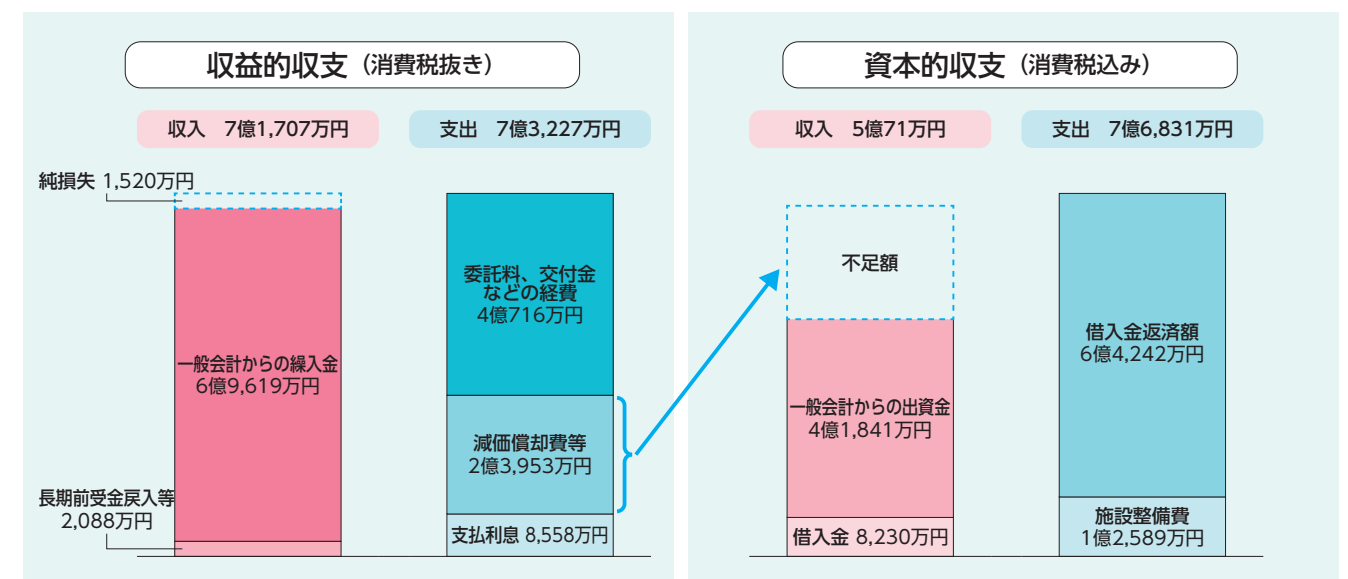
市の病院事業会計では、一般会計からの繰入金を主な財源として、指定管理者への委託料や交付金の支払い、病院建設時の借入金の返済などを行っています。また、病院建設から20年以上が経過し、建物・設備の更新についても実施しています。9月市議会定例会に議案を提出し、認定された令和6年度病院事業会計決算の概要についてお知らせします。

☎健康推進課（病院事業管理室） ☎22-1362

○令和6年度病院事業会計決算の収支状況

収益的収支では、主に一般会計からの繰入金の収入により指定管理者への委託料や交付金、借入金の利息の支払いを行いました。

また、資本的収支では、一般会計からの出資金の収入により病院建設時の借入金の返済を行ったほか、企業債の借入れを行い、更新が必要な病院の建物・設備として、非常用発電機の更新、防火シャッターなど消防設備の更新を実施しました。



○令和6年度の運営状況

経営形態が変更となり2年目を迎えた令和6年度は、指定管理者による積極的な看護師等職員の採用や他医療機関などとの連携推進により、病院を利用する患者数及び病床の稼働率は公設民営前の令和4年度の数値と比較し大幅に増加しています。

令和6年度は、199床の許可病床のうち152床の稼働となりました。稼働していない47床については、令和7年度に入り徐々に再開している状況です。

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
稼働病床数	152床	152床	152床
平均病床稼働率	86.68%	74.53%	56.47%
1日平均入院患者数	131.8人	113.3人	85.8人

